原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成30年5月11日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎　記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

＜本日の報告事項＞

○司会　それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長　それでは、お手元の広報日程に基づきまして、私から補足説明をさせていただきます。

まず、1ページ目下段になります。5月15日火曜日に審査会合が予定をされてございます。議題は2点予定されております。

まず、1件目といたしまして、日本原電・東海第二原子力発電所につきまして、設置変更許可に係る審査が行われる予定でございます。内容といたしましては、隣接事業所との覚書に関しまして、説明を聴取して審査を行うという予定でございます。

続きまして、2件目といたしまして、九州電力・川内原子力発電所及び玄海原子力発電所の保安規定についての審査を行う予定でございます。こちらは内容といたしましては、降下火砕物対策、特に電源機能の維持に関しまして3月に概要を聴取したところですが、それに続き審査を行うという予定でございます。

次に、広報日程の2ページ目でございます。5月17日木曜日、（6）の核燃料施設等の審査会合についてでございます。議題は3件予定されておりまして、日本原燃株式会社の再処理施設、MOX燃料加工施設及び廃棄物管理施設の審査が行われる予定でございます。

これらの内容でございますが、まず、これら施設の申請書の補正、こちらが4月中旬に提出されておりますが、その内容について説明をお聞きするということを予定しております。

また、個別の事項といたしまして、MOX燃料加工施設の重大事故等対処、具体的には火災対策等でございますが、これについて、前回の審査、こちらはしばらく中断しておりましたので、9月になりますが、前回に引き続いて審査を行うという予定でございます。

次に、その下、5月18日金曜日、（7）平成30年度行政事業レビューに係る第1回外部有識者会合が開催される予定でございます。こちらは、毎年、行政事業レビューに関して開催されている会合でございます。

今回の会議では、そこの議題にございますが、まず、平成30年度の行政事業レビューの進め方の計画につきまして説明を行った上で、外部有識者による点検対象事業、特にいわゆる公開プロセスの対象とする事業の選定について、議論をいただくという予定で

ございます。
次に、2ページ目の下段、（8）、こちらは同日5月18日でございますが、第7回プラント安全技術評価検討会の開催が予定されております。こちらは平成29年度安全研究プロジェクトのうち、3件のプロジェクトにつきまして、事後評価に関し技術的視点からの評価について、議論が行われるという予定でございます。
次に、3ページ目上段でございます。こちらは同日5月18日金曜日でございます。（9）として第60回特定原子力施設監視・評価検討会の開催が予定されております。議題は主に3件予定されております。
まず、議題1といたしまして、中長期リスクの低減目標マップを踏まえた主な検討指示事項の対応状況について、状況を聴取するという予定でございます。こちらは3月に改訂されました中長期リスク低減目標マップにつきまして、前回の1F検討会で様々な事項への対応について、検討を行うように要請をしたところでございまして、それを踏まえた対応状況についての説明をお聞きするという予定でございます。
次に、議題2といたしまして、原子炉格納容器内部調査等の対応状況ということでございます。こちらは2号機、3号機の炉内の調査につきまして、東京電力が実施し、既に結果が公表されているものでございますけれども、これについて検討会として改めて説明をお聞きするというものでございます。
その次に、議題3といたしまして、排水路の放射性物質濃度低減の取り組みの状況について、聴取を行うという予定でございます。こちらは、かねてから排水路の放射性物質の濃度低減対策の取り組みを進めていただいているというところでございまして、こちらの状況について報告を聴取するということでございます。
最後に、3ページ目の中段やや下、3.委員の現地視察の予定が1件新たに入ってございます。5月19日の土曜日に、更田委員長及び伴委員が北海道電力の泊発電所の現地視察を行うという予定でございます。こちらは泊発電所の安全対策設備の状況等について、現地を訪問して状況を視察するというものでございます。
私からの御説明は以上です。

＜質疑応答＞

○司会　それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属とお名前をおっしゃってから質問をお願いします。
質問のある方は手を挙げてください。フジオカさん。
○記者　NHKのフジオカです。よろしくお願いします。
5月17日木曜日の核燃料施設関係の審査会合なのですけれども、こちらは再処理工場とMOX燃料加工施設は、中断していた審査の再開後の審査になると思うのですけれども、もう少しそれぞれどういった説明、議論になりそうかということを教えてもらってもいいですか。

○大熊総務課長　今御指摘いただいたとおり、日本原燃の再処理施設等、関連施設の審査が中断されていたところでして、こちらが定例会において、様々な点検が終了したという報告を受けて再開するということで、報告があったことを受けて再開するというものです。

今回は補正が提出されましたので、その全体について、まず説明をお聞きするということ、これが再処理施設等については主眼といいますか、行われる予定の内容でございます。

繰り返しになりますが、先ほど一言申し上げましたけれども、MOX燃料加工施設については、中断する前に火災対策について審議が行われて、検討途中になっていた部分がございますので、これについては引き続き行うということであります。

その後、今後の予定は具体的にはまだ決まっておりませんけれども、先般再開する際に御質問を受けてお話しした部分があったかと思いますが、担当から御説明したところがあったかと思いますが、降下火砕物対策などが審査の対象になってくるものと思われますけれども、具体的な審査のスケジュールは決まっておりません。

○記者　分かりました。

あとは、ちょっと戻りまして、5月15日の方の審査会合なのですけれども、東海第二発電所の設置変更許可の議題の方で、まだ審査書案作成に向けた原電からの補正といいますか、追加で必要な事項というのがまだ出てきていないと思うのですが、そのあたりは何か情報とかは入っていらっしゃいますか。

○大熊総務課長　具体的にいつ提出されるかという情報は聞いておりません。今御指摘があったように、審査会合で議論されたように、審査内容を踏まえて明確化される必要がある部分が残っておりますので、そういった補正の手続が必要になってくるものと思いますけれども、まだ具体的な日程等は聞いておりません。

○司会　ほかに御質問はございますでしょうか。カワダさん。

○記者　朝日新聞のカワダと申します。

東海第二の議題の隣接事業所との覚書についてというのは何のことでしょうか。教えてください。

○大熊総務課長　ちょっと分かりにくい御説明で恐縮でした。

こちらは今までの審査事項を確認する中で、確認する必要が出てきた事項として、今回、審査の中で取り上げて確認を行うということです。具体的な内容のイメージですけれども、隣接事業所として近隣にJAEAの施設がございます。そことの関係で、覚書を作るなどの形で協力いただく必要がある部分があるということで、そこについて確認を行うということであります。

イメージが湧くために例えばで申しますと、例えば竜巻の対策として、隣の事業所でも自動車が飛ばないように必要な対策をとっていただくとか、そういった対応をしてい

ただく必要がある部分についての確認ということでございます。
○記者　ありがとうございます。

○司会　ほか、御質問はございますでしょうか。タケオカさん。
○記者　共同通信のタケオカと申します。

プレスリリースする、しないの基準で確認させていただきたいのですけれども、昨日、ふげんの廃止措置計画の認可が行われたみたいで、これはホームページに載っていたのですけれども、一方で、原発の工事計画ですと、認可した場合、ホームページに載るとともに、報道機関向けに認可したというリリースというのか、メールが広報課から届いていたと思うのですけれども、そういう許認可手続でホームページ掲載だけの場合と、報道機関にもそういう許認可したという連絡が入る場合のする、しないの基準みたいなものは何かあるのでしたか。

○大熊総務課長　基本的には極力、御関心のある情報については、透明性を重視する観点からホームページにも掲載し、また、プレス向けのリリースという形も活用して、御要望にもお応えしていくという方針であるのですけれども、今の御質問の部分というのは、掲載する以外に情報を別途のメールといったようなことでも流すのかどうかといったことの御質問ですね。

○記者　そうですね。比較的というか、関心が高いというか、例えば原発の工事計画の認可だと2時ぐらいなのですかね。普通ですと、認可したというメールが広報課から報道機関向けに来ると。ホームページのとある場所に、そういうものが収納されている場所には載っていると。

一方で、ホームページのとある場所に載っているのだけれども、物によっては、昨日のふげんの件は特に認可したというメールはこちらに来なくて、そうだったのかというのは後で知ることになったのですけれども、もしそういう基準があったのだったかなという確認だったのですが。

○大熊総務課長　済みません。今、どこでどういう運用をしているか、詳細なところ、ちょっと直ちに手元にないので、そこは確認してお伝えをしつつ、また、もし御要望があれば、なるべく応えられる方向で検討したいと思います。後で確認をさせていただければと思います。

○司会　ほかに御質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

－了－